「人間はみな三十数億年の因縁で生まれてきて、五十兆もの細胞の自動的調和によって生かされているのであり、内臓なども自分の工夫で働かせているのではなく、全部知らない間に、うまく自動的に働いているのであります。誰が働かせておるかということになれば、最初の命が与えられたのは、自然法爾（じねんほうに）からですから、やはり自然（じねん）というほかはないでしょう。とにかく、わからんということがわかると、本当、腹の底から頭が下がります。私は研究を通して、理屈抜きに喜びと、しみじみと腹から湧き出るような有難さを感じております。ですから、近頃は、“極楽は遠き彼方と聞きしかど　わが極楽はこの身このまま”などという歌をつくって、そんな気持ちで生きております。極楽は遠いところのように聞いておったが、今日生きておる、この一息の中に極楽があると喜んで、生きております。これはもう理屈ではありません。私の実感であります。私の親鷲聖人さまへの信仰などというものは、理屈は一つもないのであります」平沢興先生

今月は、法要と総会です。婦人会はお陰さまで十年目を迎えさせて頂きました。これからも「如来様」「如来様」と、如来様を仰いで地道に歩んで参りましょう。南無阿弥陀仏　　　合掌